

受入農家訪問！

9月に入り、朝夕の風は、すっかり秋を感じますが、日中はまだ暑く感じます。寒暖差もあり、体調を崩しやすい時期でもあります。引き続き体調管理には十分お気を付けください。

新潟の美しい田園風景も黄金色に輝きはじめました。稲刈りも始まります。いよいよ秋本番ですね♪
今回も3軒の農家さんを紹介します。

西蒲区松野尾：八尾坂さん

八尾坂さんは、受入農家になって8年目。主に長ネギの栽培をしている農家さんです。この地域(松野尾)は砂地で長ネギ栽培には適していて、長ネギ農家さんが多いそうです。

サポーターさんには、主に長ネギの出荷作業をお願いしているそうです。八尾坂さんご家族に混じり、スムーズに作業が流れていきます。



伺った日のサポーターさんは、八尾坂さん宅で週1回、曜日を決めて活動しているそうです。慣れた手つきで、長ネギの根をハサミで切りとり、きれいな姿にしています。



きれいな姿になったネギを数本ずつシールで束ね、箱入れされ、出荷準備完了です。時には箱入れ作業もサポーターさんをお願いしているそうです。

八尾坂さん宅では、長ネギの作業は11月上旬まで続きます。

大量の長ネギの外皮はいったいどうなるのですかと尋ねたところ、たい肥にするそうです。長ネギの皮、牛糞、もみ殻などを混ぜ発酵させ3年ほどでたい肥となり再利用しています。

目次

受入農家訪問！	1・2
いくとびあ食花 秋のイベント案内	2
受入農家さんの声	2
事務局より連絡	2

江南区天野：松田さん

受入農家になって今年で6年目の江南区の松田さんです。多品目の野菜を栽培しています。多品目になった理由のひとつは、「新潟らしい野菜！」を栽培したいと思ったことがきっかけだそうです。伺った日は、「かぐら南蛮」、「一日市茄子」、「島見茄子」といった新潟の夏野菜を袋詰めする作業もしていました。



モロヘイヤ、つるむらさき、オクラなどが横浜方面のスーパーマーケットにも並ぶそうです。サポーターさんは袋にひとつひとつシール貼りをします。



こちらは枝豆の選別作業です。朝、収穫した枝豆をひとつひとつ目で見て選別していきます。丁寧にチェックされていることにあらためて感心しました。

この日、2名のサポーターさんが松田さんご家族と、和やかな雰囲気の中作業していました。1名のサポーターさんは松田さん宅で活動するようになって6年目。週1回ペースで参加していて「とくに土いじりは癒されます。」と笑顔。松田さんのお母様も「家族の一員のように。助かっています。」とお話していました。もう1名のサポーターさんは松田さん宅へは2回目だそうです。「お話しながらの作業は気分転換になります。」と笑顔でお話していただきました。

この日、畑でバジル12kg分を収穫していた松田さん。お忙しい作業中にもかかわらず、ありがとうございました。

北区大月：宮尾さん

宮尾さんは、自然栽培の米作り、お米で育てた平飼卵を作っている農家さんです。地域の自然に感謝し、それを活かし、身近にあるものを見つめ、その恵みをいただきながら稲や鶏を育てているという宮尾さんです。将来を見据えた農業を営み、活動をしています。

★「平飼いとは？」

「平ら」に「飼う」という意味で、鶏を地面に放して飼う養鶏法のことです。鶏は地面を自由に動き回ることが出来ます。つまり、鶏は本来の習性に沿った生活ができるので健康になり、良い卵を産むことができます。



伺った日、サポーターさんは鶏のエサの配合作業を宮尾さんとしていました。以前は、エサを入れる木箱を修理したこともあったそうです。サポーターさんは、「なんでも、やります！楽しいですよ♪」「鶏たちともお友達になりました♪」と笑顔でお話していました。

次は作業場に戻り、もみを乾かす乾燥機の掃除をお手伝いするサポーターさん。エアーを使って機械についたもみを吹き飛ばし、きれいにしていきます。



稲刈りが始まる前の準備ですね。

宮尾さん宅の田んぼからの田園風景。遮るものもなく美しいです。

(写真：8月中旬撮影)



「自然を大切にしていくことは、景観をよくするだけでなく、周辺の環境の付加価値にもつながっていくと考えます。」と宮尾さん…深い話が続きます。

いくとぴあ食花 秋のイベント案内

○動物ふれあいフェスタ

開催日：9月23日(土・祝)

いくとぴあ食花では、動物愛護週間(9月20日から9月26日)に合わせ、動物ふれあいフェスタを開催します。食育・花育センターでは【木の実で動物を作ろう】体験などを実施します。

また各施設に、おもしろ動物顔出しパネルを設置します。どうぞお楽しみに♪

○秋の収穫感謝祭

開催日：10月7日(土)～8日(日)

食の大切さを楽しく学び、秋の恵みを体験できるイベント・催しを予定しています。

【各イベントの詳細はホームページをご覧ください】



受入農家さんの声

～サポーター通信第86号でサポーターさん募集した江南区の受入農家、山倉さんより～

「今年の8月も皆さんからのご協力が無事乗り切りました。皆さんに感謝いたします。」



とくに、大募集した8月11日、12日は、たくさんのサポーターさんからご参加いただきました。盆花のお手伝い、ありがとうございました。

事務局より連絡

●秋を感じられるようになりましたが、まだまだ日中は気温の高い日もあります。また季節の変わり目で体調がいつもと違うと感じる日もあるのではないのでしょうか。体調には留意し、少しでもおかしいと感じたら、無理せず、活動中であっても農家さんに伝え、体を休めてください。

●農家さん、サポーターさんからの声、サポーター通信で取り上げてほしい情報がありましたら、事務局までぜひお寄せください。お待ちしております！

新潟市農業サポーター事務局 (新潟市食育・花育センター内)

住所：新潟市中央区清五郎 401 番地 電話番号：(025)282-4181 FAX：(025)282-4987

休館日：不定休 (※9月の休館日は12日(火)、26日(火)です)

◆電子メール アドレス shokuikuhanai@city.niigata.lg.jp

◆Web サイトのアドレス http://www.city.niigata.lg.jp/business/shoku_hana/nougyo/supporter/supporter_kiroku.html

◆ブログ版「農業サポーター通信」 <http://agri-supporter.shokuhana.com/>

携帯電話はこちらから⇒

